

高山振興ワークショップ事業仕様書

1. 業務名

高山振興ワークショップ事業

2. 業務目的

高山地域は、全国的にも有名な茶釜、編針、茶道具の産地である。また、歴史・文化資産、近隣都市部には見られない自然景観や毎年秋に開催される高山竹あかりの催事があり、そうした観光資源を目的とした来訪者が訪れている地域である。

本業務を実施する目的は次の2つである。1つ目は高山地域の居住者と市内外の居住者との協力を、高山地域の資源を活用した催事を行うことで、高山地域への更なる来訪者の増加に資することである。2つ目は、催事を協力して行った者同士が翌年度以降も継続的に催事を開催できるように、催事を協力して行った者同士の自走化を支援することである。

3. 契約期間

契約締結日から令和7年3月7日(金)まで

4. 用語の定義

高山地域	生駒市高山町
地域資源	高山地域にある観光施設、事業者施設、自然、人
来訪者	催事を目的に来訪する者
催事	高山地域に来訪者を誘客するための行事やイベント等を開催すること
高山地域参加者	高山地域に拠点もしくは住所があり、催事に協力できる事業者または団体、個人
地域外参加者	市内外を問わず高山地域で催事の実施を希望し、高山地域と連携できる事業者または団体、個人
催事実施者	高山地域参加者と地域外参加者
チーム	高山地域参加者と地域外参加者で編成され、1つの催事を行う集団
ワークショップ	高山地域参加者と地域外参加者が協力して催事を行うための準備行為

5. 実施場所

高山地域
(ただし、催事の内容や規模に応じて、市外を含む周辺地域を含むことも可能とする。)

6. 業務の成果目標

- (1)10者以上の催事実施者を集めること
- (2)高山地域で3開催(1 チームが1 回催事を行うことを1 開催とする)以上催事が開催されること

7. 業務概要

業務名		内容
1	催事周知	・広告媒体の活用や勧誘を通じて本事業に参加する高山地域参加者および地域外参加者を募集する。

		・広告媒体の活用や勧誘を通じて市内外から催事への来訪者を集める。
2	催事受付	・応募のあった高山地域参加者および地域外参加者の受付管理を行う。 ・来訪者の受付管理を行う。
3	催事選考	・選考基準を設け、応募者から催事実施者を選定する。 ・催事実施者のチーム分けを行う。
4	ワークショップ実施	・催事実施者に対し、催事の意義や目的の理解を深めるとともに、各チームが作成する催事企画の支援を行う。 ・催事実施者に対し、催事開催後の振り返り及び翌年度以降の催事の継続開催に向けた自走化の支援
5	催事開催支援	・各催事開催にあたっての催事開催場所等の予約や確保 ・各催事開催にあたり必要な許可の取得 ・各開催場所の装飾(例:幟、タペストリー、電飾等)、什器(例:イス、机、テント等)の設置、音響・映像機器の設置、その他催事に必要な備品類の配置 ・催事開催時の来訪者及び催事実施者の安全面を考慮した上で、来訪者が来場しやすく、催事実施者が運営しやすい催事開催場所等の設計や装飾、什器、備品類の配置 ・来場者の誘導や整理及び催事に必要な警備員の配置
6	管理業務	・本事業を実施するために必要な事務局の設置 ・プロジェクトマネージャーを1名配置し、全体のマネジメントを行う ・本業務の全てに関する問い合わせ対応の実施 ・本業務を円滑に実施するために必要な関係機関等や高山地域の住民や事業者への協力依頼・調整・交渉の実施 ・本業務のワークショップおよび当市との打ち合わせに係る議事録の作成
7	フィードバック業務	・催事に来場した来訪者数の調査 ・催事実施者及び来訪者へのアンケート調査 ・本業務実施中及び実施後において効果的と考えられる方法や手段の提案 ・上記調査や提案を踏まえた報告書の提出

8. 留意事項

- ・上記業務の実施に際し、必要な費用は全て委託料に含むものとする。
- ・委託料の中から、各チームが自らの催事の為に任意に使える催事活動費用を設定することができる。催事活動費用の設定の有無及び費用の上限額は受託者の提案を元に本市と協議して受託者が判断することとする。
- ・各催事の主催者は生駒市とし、催事の内容は公益に適うものであることに留意する。
- ・来訪者、催事実施者、高山地域の住民・団体・事業者、その他本事業に係る者からの相談や問い合わせには誠実に応対すること。

- ・本市と緊密に相談や打ち合わせを行ったうえで、各業務を実施すること。
- ・受託者は受託決定後、本市との初回打ち合わせの際に、業務全体のスケジュールがわかる書面を提出すること。